

麦 作 情 報 第 4 号

平成 28 年 4 月 26 日
J A 全農みやぎ

～依然温度高く、大麦は出穂済み、小麦も5月上旬である！～

！！赤かびの適期防除！！

1 天候の経過（古川アメダス）

- ・3月の平均気温は平年より1.6℃高かった。
- ・3月の最高最低気温とも同様の傾向で、それぞれ2.5℃, 0.5度高かった。
- ・4月も同じ傾向が続いている。
- ・日照時間は3月多照で、4月は並みである。
- ・4月降水量は、まとまった雨で平年より多雨となっている。

月	平均気温 (℃)	最高気温 (℃)	最低気温 (℃)	日照時間 (h)	降水量 (mm)
3月	5.2	11.0	-0.4	192.9	11.5
平年差	1.6	2.5	0.5	20.3	▲ 54.5
前年差	▲ 0.2	0.4	▲ 1.0	10.5	▲ 143.0
4月25日まで	10.2	16.0	4.0	107.5	154.6
平年差	1.4	1.4	0.6	▲ 0.4	29.0
前年差	0.5	0.9	▲ 0.5	20.4	▲ 3.5

2 平成28年産の麦類生育状況（4月11日 古川農業試験場調査）

品種	草丈			茎数			葉齢		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (枚)	前年比 (枚)	平年比 (枚)
シュンライ	47.7	139	225	735	97	70	10.8	0.6	1.9
ミノムギ	40.6	142	199	883	106	83	11.8	2.3	2.8
あおばの恋	48.2	126	200	743	90	80	8.5	0.2	0.8
シラネコムギ	39.3	119	188	841	100	84	10.4	1.2	1.7
ゆきちから	32.1	118	170	1001	92	83	10.4	1.1	1.8

- ・草丈は、大麦小麦とも平年・前年より長く、平年の約2倍に達している。
- ・茎数は、生育ステージが進んでいることから同じ調査時期では平年より少なく、8割程度となっている。
- ・葉齢は、11枚程となっており、平年より2枚程度進んでいる。

品種	幼穂長			幼穂形成始期 (月/日)		主穂長 (mm)		茎立期 (月/日)		減分熟予測 (月/日)		出穂熟予測 (月/日)	
	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
シュンライ	21.4	7.0	14.1	1/27	2/3	130.3	21.2	3/22	4/4	4/11	4/25	4/21	5/2
ミノムギ	14.5	7.4	9.3	2/4	2/15	78.8	20.4	3/26	4/6	4/15	4/27	4/25	5/6
あおばの恋	25.3	15.9	20.1	12/26	2/22	144.1	24.1	3/7	3/30	4/12	4/27	4/26	5/7
シラネコムギ	8.2	3.7	5.4	3/6	3/16	67.3	20.9	3/29	4/12	4/23	5/1	5/3	5/11
ゆきちから	6.7	2.4	4.0	3/8	3/21	41.9	18.9	4/4	4/16	4/25	5/1	5/6	5/12

- ・ 茎立ち期は、大麦小麦とも平年より10日以上早かった。
- ・ 出穂期は、大麦で4月20日～下旬にかけて、小麦は5月初めになると思われる。



〔大麦：石巻〕



〔小麦：石巻〕

3 今後の管理

（１）追肥

- ・ 小麦は穂揃期にタンパク含量を向上させるため、窒素成分で2～2.5kg/10a 程度追肥する。
- ・ 大麦は硬質麦防止のため実施しない。

（２）「赤かび病」の防除（病虫害防除所）

- ・ 赤かび病は開花期前後にかけて降雨が続くと発生が多く、1万粒に5粒以上の混入で規格外となることから、適期防除に努める。
- ・ 赤かび病の防除は、開花始期～開花期における予防防除が重要である。散布遅れにならないよう、適期防除に努める。
- ・ 防除は、開花始期～開花期に1回目、その7～10日後に2回目の防除を実施する。
- ・ 小麦の「ゆきちから」は赤かび病抵抗性がやや弱いので、3回防除が基本とする。



〔小麦の赤かび粒〕



〔大麦の健全穂〕